



# 第38回 ひだか樹魂まつり

第38回ひだか樹魂まつりが、25日と26日の両日、日高山岳ピラパークで開催されました。

開催前は雨が強く降っており、コンディションが心配されましたが、前夜祭の開催前には小降りとなり、「観光踊りパレード」で華やかに幕を明けました。

前夜祭では、昨年限りで解散とされていた木遣り保存会の皆さんが、周囲からの熱い声に後押しされて復活し、その技で観客を魅了しました。

ステージでは、「日高管内太鼓フェスティバル」などのイベントが開催され、各国から訪れた北海道大学の留学生等を含めた大勢の観客を楽しませました。

前夜祭の締めくくりは恒例の花火大会が開催され、夜空に大輪の花火が開くと大きな歓声が上がりました。

26日の本祭は、門別沙乱舞連、平取義経なるこ会、ひだか樹魂舞によるよさこい競演で開幕しました。

丸太をのこぎりで切り落とすタイムを競う「木こりさん競走」や、1チーム5人で重量約300kgの丸太を運ぶ早さを競う「流送レース」も行われ、参加した方だけでなく、見ている方も楽しめる様々なイベントが開催されました。

まつりの最後は「もちまき」が行われ、最後まで笑顔が溢れました。





日高山脈に棲むという  
伝説の竜を守護神に  
樹々に感謝を捧げる。

